

2024年度 第11回 WEBアンケート 調査報告書

1 「食品ロス削減」

環境局廃棄物対策課

2 「LGBT（性的少数者）」

市民局男女共同参画課

3 「自殺対策」

保健福祉局精神保健福祉課

4 「千葉市農政センターの活用」

経済農政局農業経営支援課

5 「鉄道の利用」

都市局交通政策課

総合政策局市長公室広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ 食品ロス削減 2
・ LGBT(性的少数者) 5
・ 自殺対策 7
・ 千葉県農政センターの活用 9
・ 鉄道の利用 12
・ その他 14

回答者属性

回答者数	1,737人
------	--------

性別		
男性	797人	45.9%
女性	884人	50.9%
その他	10人	0.6%
未回答	46人	2.6%

職業		
会社員	541人	31.1%
自営・自由業	75人	4.3%
パート・アルバイト	329人	18.9%
公務員	87人	5.0%
学生	47人	2.7%
専業主婦・主夫	291人	16.8%
無職	323人	18.6%
その他	44人	2.5%

年代		
10代以下	28人	1.6%
20代	58人	3.3%
30代	165人	9.5%
40代	277人	15.9%
50代	465人	26.8%
60代	411人	23.7%
70代以上	333人	19.2%

居住区		
中央区	314人	18.1%
花見川区	253人	14.6%
稲毛区	294人	16.9%
若葉区	140人	8.1%
緑区	222人	12.8%
美浜区	443人	25.5%
市内在勤・在学	71人	4.1%

2024年度 第11回

調査名	「食品ロス削減」「LGBT(性的少数者)」「自殺対策」「千葉市農政センターの活用」「鉄道の利用」
調査期間	2025年2月1日(土)午前9時～2025年2月10日(月)午後5時

概要:

<p>1 「食品ロス削減」 食品ロス※1削減に対する認知度と、取組み状況等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。 ※1 食べ残しや期限切れなどの理由で、本来食べられるのに捨てられている食べ物のこと。</p> <p>2 「LGBT(性的少数者)」 本市では、性的指向・性自認等に関わらず安心して暮らせるよう、LGBT(性的少数者)※2への支援に取り組んでおります。LGBTについて、皆様の考えを伺い、今後の施策の参考とさせていただきます。 ※2 レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障害などで、心と身体の性が一致しない方等)の頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称の一つ。</p> <p>3 「自殺対策」 自殺対策に関するご意見をお聞かせいただき、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>4 「千葉市農政センターの活用」 千葉市農政センターは1978(昭和53)年に都市農業の推進を目的として開設された施設です。当センターでは、都市農業の拠点として種苗供給力の強化、企業と連携した新技術の立証、新たな栽培モデルの確立など機能強化に向けて取り組んでいます。千葉市農政センターに関するご意見などをお聞かせいただき、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>5 「鉄道の利用」 普段の外出時の交通手段として、鉄道等の利用状況をお聞かせいただき、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>
--

参考URL

https://www.city.chiba.jp/kankyo/iunkan/haikibutsu/tabekiri.html
https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/danjo/lgbt.html
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/seishin/jishiindex.html
https://www.city.chiba.jp/keizainosei/nosei/center/keieishien/nouseicenter.html
https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/train.html

- Q1: はじめに、「食品ロス削減」についてお聞きします。
食品ロスが問題※3となっていることを知っていましたか。
【選択肢補足】
※3 日本では、食品ロスが1年間で約472万トンも発生しており、一人あたりおにぎり約1個分のご飯に近い量(約103g)の食べ物を毎日捨てている計算になる(2022(令和4)年度集計)。
[出典]農林水産省資料「日本の食品ロスの状況(2022(令和4)年度推計値)」

(1つだけ)(入力必須) [n=1,737]

知っていた(問題となっていることだけ知っていた)	866	49.9%
知っていた(内容も知っていた)	751	43.2%
知らなかった →Q3へ	120	6.9%

- Q2: (Q1で「知っていた」と回答した方)
食品ロスに関する情報をどこで知りましたか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,617]

テレビやラジオ	1,138	70.4%
インターネット(SNS、動画サイトなど)	517	32.0%
新聞や雑誌	498	30.8%
ちば市政だより	387	23.9%
外出先(駅広告、飲食店、スーパーマーケットなど)	283	17.5%
市ホームページ	134	8.3%
民間事業者が実施するキャンペーン	96	5.9%
職場(アルバイトを含む)	86	5.3%
ポスター	84	5.2%
学校の授業	57	3.5%
市が実施するキャンペーン	56	3.5%
市リーフレット	28	1.7%
その他	55	3.4%
覚えていない	46	2.8%

- Q3: 食品ロスの代表例として以下の選択肢の内容が挙げられます。ご家庭で食品ロスを出してしまう理由を選んでください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,737]

家に在庫があるのに、買ってしまった	625	36.0%
安くてつい買い過ぎてしまった	596	34.3%
食べるのを忘れてしまった	514	29.6%
人からもらったものが食べきれなかった	469	27.0%
賞味期間間近または消費期間間近の見切り品を買ったが、食べきれなかった	404	23.3%
好みの味ではなかったため、食べきれなかった	315	18.1%
食べられる葉っぱや皮など、調理が面倒で捨ててしまう	263	15.1%
予定外の外出により食べきれなかった	226	13.0%
野菜などの皮を厚く剥いてしまう	205	11.8%
自分または家族へ食事を取り分けたが、想定より食べる量が少なかった	164	9.4%
料理を作り過ぎてしまう	150	8.6%
食品の保管方法を誤ったため(冷蔵保存の食材を常温保存してしまった等)	145	8.3%
自分または家族で食べ物の好き嫌いが多い人がいる	78	4.5%
理由はよくわからないが食品ロスが出てしまう	70	4.0%
自宅で食事する機会(食べ残しや作りすぎの機会)が増えた	37	2.1%
その他	39	2.2%
食品ロスは全く出ない →Q5へ	228	13.1%

Q4: (Q3で「食品ロスは全く出ない」と回答した方以外)
ご家庭で、どのくらいの頻度で食品ロスが出ますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,509]

毎日	39	2.6%
週に1回程度	348	23.1%
週に2～5回程度	131	8.7%
月に1～2回程度	553	36.6%
ほとんど出ない(年に数回程度)	438	29.0%

Q5: 食品ロスを減らすためにあなた自身が取り組んでいることはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,737]

残さず食べる	1,112	64.0%
冷凍保存する	951	54.7%
買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	946	54.5%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	916	52.7%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	757	43.6%
バイキングでは料理を取りすぎない	509	29.3%
料理を作り過ぎない	444	25.6%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	399	23.0%
残った料理を別の料理に作り替える	390	22.5%
外食の際は、注文しすぎない、小盛りのもを選択する	362	20.8%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	348	20.0%
外食の際に食べきれなかった料理を持ち帰る	163	9.4%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	74	4.3%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	13	0.7%
取り組んでいることはない	24	1.4%

Q6: 食品ロスを減らすために今後取り組んでみたい、または今後も取り組んでいきたいことはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,737]

買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	894	51.5%
残さず食べる	831	47.8%
冷凍保存する	747	43.0%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	700	40.3%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	691	39.8%
料理を作り過ぎない	515	29.6%
バイキングでは料理を取りすぎない	464	26.7%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	460	26.5%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	400	23.0%
外食の際は、注文しすぎない、小盛りものを選択する	399	23.0%
残った料理を別の料理に作り替える	383	22.0%
外食の際に食べきれなかった料理を持ち帰る	250	14.4%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	214	12.3%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	125	7.2%
すでに十分に取り組んでいるため、今後新たに取り組んでみたいことはない	131	7.5%
現状で取り組んでいるとは言えないが、今後新たに取り組んでみたいことはない	48	2.8%

Q7: 食品ロス削減につながる事業として市に実施して欲しいものは何ですか。

【選択肢補足】

※4 3R推進月間である10月に、プラスチックごみおよび食品ロスの削減など、ごみの減量・再資源化の普及啓発のために実施している商業施設を利用したキャンペーンイベント。

また、3Rとは、Reduce(リデュース;ごみの量を減らす)、Reuse(リユース;ものを繰り返し使う)、Recycle(リサイクル;資源として再び利用する)の3つの行動の総称です。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,737]

飲食店等と連携した食べきりキャンペーン	806	46.4%
学校での食品ロスに関する授業(児童・生徒や学生を対象とした啓発活動)	629	36.2%
食品ロス削減に取り組んでいる飲食店等の紹介や支援	573	33.0%
ちば市政だよりへの掲載やパンフレットの制作	462	26.6%
イベント(へらそうくんフェスタ※4など)	450	25.9%
食品ロス削減に取り組んでいる企業、団体の紹介や支援(飲食店以外)	387	22.3%
参加型の啓発事業(ワークショップ、エコ料理教室など)	308	17.7%
受講型の啓発事業(市政出前講座、ごみ減量講習会など)	206	11.9%
啓発動画の制作	80	4.6%
その他()※50字以内	69	4.0%
特になし	103	5.9%

Q8: 次に、「LGBT(性的少数者)」についてお聞きします。
現在の社会は、偏見や差別などの人権侵害により、LGBTの方々にとって生活しづらいと思いますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,737]	
思う	330	19.0%
どちらかと言えば思う	905	52.1%
どちらかと言えば思わない →Q10へ	331	19.1%
思わない →Q10へ	171	9.8%

Q9: (Q8で「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した方)
そのように思う理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,235]	
周囲から理解が得られない	902	73.0%
性別で区分された設備(トイレなど)を使いづらい	623	50.4%
いじめ(悪口、いやがらせなど)を受ける	600	48.6%
同性のパートナーとの関係を認めてもらえない	419	33.9%
自らが認識する性とは異なる性のふるまい(服装、言葉遣いなど)を強要される	389	31.5%
法律や条令の整備などが不十分	382	30.9%
就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受ける	351	28.4%
申請書などへ性別の記入を求められる	331	26.8%
行政機関などの相談・支援体制が不十分	266	21.5%
学校、職場などに相談相手がいない	215	17.4%
家族、友人などに相談相手がいない	208	16.8%
住宅を借りづらい	177	14.3%
相談・情報交換などができるコミュニティスペースがない	171	13.8%
その他	19	1.5%

Q10: 学校や職場内の方にLGBTの方がいた場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。(ご自身がLGBTである方もお答えください。)

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,737]	
できる	888	51.1%
できない	72	4.1%
わからない	777	44.7%

Q11: ご自身や周囲の方の性的指向・性自認に関して悩んだことはありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,737]	
悩んだことがある(周囲の方の性的指向・性自認に関して)	36	2.1%
悩んだことがある(ご自身の性的指向・性自認に関して)	32	1.8%
悩んだことがある(ご自身の性的指向・性自認及び、周囲の方の性的指向・性自認に関して)	19	1.1%
悩んだことはない →Q13へ	1,518	87.4%
わからない →Q13へ	132	7.6%

- Q12: (Q11で「悩んだことがある」と回答した方)
ご自身や周囲の方の性的指向・性自認に関する悩みについて、相談できる方または場所
はありますか。該当するものをお選びください。

(いくつでも)(入力必須) [n=87]

友人	39	44.8%
家族	23	26.4%
同じ悩みを共有出来るコミュニティ	14	16.1%
職場や学校の人	12	13.8%
専門相談窓口	6	6.9%
その他	6	6.9%
一つもない	20	23.0%

- Q13: 千葉市LGBT専門相談(LGBT当事者やその周囲の方が悩みなどを相談できる窓口)やち
ば SOGI BASE(2024年から開始。LGBT当事者やその周囲の方が情報交換や相談できる
交流スペース)を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,737]

知っていた(LGBT専門相談のみ)	144	8.3%
どちらも知っていた(LGBT専門相談、ちば SOGI BASE)	53	3.1%
知っていた(ちば SOGI BASEのみ)	19	1.1%
知らなかった	1,521	87.6%

- Q14: LGBTの方々が生活しやすい社会になるために、今後、千葉市ではどのような取組みが必要
だと思えますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,737]

教育現場での啓発活動	729	42.0%
LGBTに配慮したトイレ・更衣室等の設置	685	39.4%
パートナーシップ宣誓制度の活用機会の拡充	611	35.2%
制服等の配慮	543	31.3%
条例による差別の禁止	492	28.3%
行政職員や教職員に対する研修の実施	464	26.7%
相談・支援体制の拡充	451	26.0%
企業向けの研修	398	22.9%
相談・情報交換などができるコミュニティスペースの拡充(ちば SOGI BASEの回数を増やす等)	307	17.7%
イベントや講座による理解の促進	293	16.9%
啓発パンフレットの配布	237	13.6%
その他()※200字以内	59	3.4%
何もする必要はない	156	9.0%

Q15: 次に、「自殺対策」についてお聞きします。
 これまでに「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたことはありましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,737]

よくある	84	4.8%
たまにある	160	9.2%
過去にあったが今はない	419	24.1%
ない →Q19へ	1,074	61.8%

Q16: (Q15で「ない」と回答した方以外)
 その原因は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=663]

仕事問題(職場の人間関係、職場環境、ハラスメントなど)	326	49.2%
家庭問題(家族関係の不和、子育て・虐待・介護の悩みなど)	273	41.2%
健康問題(病気や障害の悩み、メンタル不調など)	200	30.2%
学校問題(学業・進路の悩み、いじめ、人間関係など)	143	21.6%
経済・生活問題(事業不振、低賃金、失業、多重債務など)	138	20.8%
男女問題(結婚や交際をめぐる悩み、ストーカー被害、失恋など)	74	11.2%
その他	48	7.2%
わからない	9	1.4%

Q17: (Q15で「ない」と回答した方以外)
 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

(いくつでも)(入力必須) [n=663]

なんとなく死にたい気持ちがおさまった	205	30.9%
家族・パートナー・友人・ペットがいるから	200	30.2%
環境や状況を、自ら行動し改善した	158	23.8%
医療機関で治療をした	97	14.6%
人に相談して気持ちが楽になった	91	13.7%
死ぬことが怖くなった	86	13.0%
自殺の手段が思い浮かばなかった	73	11.0%
人に相談して解決した	37	5.6%
周囲の人に止められた	20	3.0%
その他()※50字以内	50	7.5%
わからない	29	4.4%

Q18: (Q15で「ない」と回答した方以外)
 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、誰に(どこに)相談しますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=663]

家族や親族	213	32.1%
友人や知人	190	28.7%
精神科など専門医療機関	127	19.2%
医療機関以外の相談機関・窓口	46	6.9%
職場の上司や同僚	30	4.5%
SNS	28	4.2%
かかりつけ医	27	4.1%
学校の先生やスクールカウンセラー	9	1.4%
相談しない	261	39.4%

Q19: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時に相談ができる窓口のうち、知っているのはどれですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

千葉いのちの電話	734	42.3%
千葉市こころの電話	504	29.0%
千葉市こころと命の相談室	427	24.6%
こころの健康相談統一ダイヤル(厚生労働省)	215	12.4%
よりそいホットライン(厚生労働省)	176	10.1%
千葉市夜間・休日の心のケア相談(電話、LINE)	166	9.6%
千葉市こころの健康センター	166	9.6%
「生きづらびっと」「こころのほっとチャット」などのNPO法人が運営するSNS	123	7.1%
区保健福祉センター健康課	120	6.9%
その他	37	2.1%
全く知らない	513	29.5%

Q20: 自殺対策における「ゲートキーパー※5」という言葉や役割について聞いたことがありますか。

【選択肢補足】

※5 ゲートキーパーとは、特別な資格等は必要なく、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1,737]

聞いたことがある	397	22.9%
聞いたことがない	1,340	77.1%

Q21: 次に、「千葉市農政センターの活用」についてお聞きします。
 これまでに千葉市農政センターを利用したことはありますか。

【選択肢補足】

※6 千葉市農政センター内にある、農業従事者及びその後継者の農林業の経営、技術に関する研修のための施設。

※7 農政センター内にある、農業者等の健康の増進に寄与するための施設。体育館として利用できる多目的ホール、野球場等として利用できる多目的グラウンドがあり、バレーボール、卓球、野球等のスポーツを行うことができる。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

ある(直売施設を利用)	150	8.6%
ある(農政センターで実施している野菜の収穫体験イベント等への参加)	88	5.1%
ある(散歩としての利用)	57	3.3%
ある(千葉地域農林業センター※6での会議や講習会に参加)	52	3.0%
ある(健康増進施設※7でスポーツを実施)	29	1.7%
ある(農業に関する相談や土壌診断等)	11	0.6%
その他()※50字以内	1	0.1%
ない	1,441	83.0%

Q22: 千葉市農政センターでは、現在、農家だけでなく農家以外の市民の皆様も気軽に立ち寄ることができるエリア※8の拡大を検討しています。どのようなものに関心がありますか。
 ※8 現在は、千葉地域農林業センター、健康増進施設、直売施設を本エリアに含んでいる。農林業に対する理解醸成を深める取り組みを行い、農政センターの魅力向上を図りたいと考えている。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

緑・自然とふれあう体験	927	53.4%
種や苗の販売を含む直売施設	791	45.5%
農業・林業の体験	645	37.1%
健康増進施設の利用	447	25.7%
イベントやサークル活動ができるスペース	314	18.1%
千葉市農政センターを活用した環境学習(展示スペースを含む)	262	15.1%
その他()※100字以内	13	0.7%
関心があるものはない	240	13.8%

Q23-1: Q22の選択肢「緑・自然とふれあう体験」「農業・林業の体験」「千葉市農政センターを活用した環境学習(展示スペースを含む)」「イベントやサークル活動ができるスペース」について、各々詳しく伺います。

「緑・自然とふれあう体験」について、どのようなものがあれば利用したいと思いますか。

【選択肢補足】はQ23-2に記載があります。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

森林を散策できる遊歩道	1,224	70.5%
自然の中で休憩できる施設(休憩所、ベンチ等)	911	52.4%
自然素材を使用した工作(木工体験、こけ玉づくり※9等)	562	32.4%
森林レクリエーション(昆虫採集、木の実や落ち葉拾い等)	476	27.4%
自然の中でのオリエンテーリング(宝探し、迷路等)	420	24.2%
その他()※100字以内	30	1.7%
利用したいものはない	189	10.9%

Q23-2:

【選択肢補足】

※9 植物の根を土で包んで球状にし、表面に苔を巻き付けたもの。



Q24:

Q22の選択肢「農業・林業の体験」について、どのような体験があれば利用したいと思いませんか。

【選択肢補足】

※10 木の枝を鳥の巣のように組み合わせてつくった枠の中に、落ち葉などを堆積させてつくるたい肥作りのこと。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

野菜の収穫(サツマイモ・ニンジン)	926	53.3%
野菜の収穫(サツマイモ・ニンジン以外)	644	37.1%
果物の収穫(クリ)	635	36.6%
果物の収穫(クリ以外)	604	34.8%
キノコの栽培	571	32.9%
苗木の栽培	403	23.2%
農家の方から農作物の育て方等のアドバイスを受ける	358	20.6%
たい肥作り(落ち葉を集めたものやバイオネスト※10など)	300	17.3%
薪割り	252	14.5%
その他()※100字以内	19	1.1%
利用したいものはない	283	16.3%

Q25:

Q22の選択肢「千葉県農政センターを活用した環境学習(展示スペースを含む)」について、どのようなものがあれば利用したいと思いませんか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

森林内での様々な体験活動(植林、間伐、枝打ち等)を通じた環境学習	674	38.8%
講師の案内による自然観察	553	31.8%
森林の持つ重要な機能(災害防止、生物多様性の保全、地球温暖化防止)について理解と関心を深める場所の提供	550	31.7%
貴重な植物の保存と展示(カタクリ、ヤマユリなど)	391	22.5%
樹木・草花検索アプリを使用した自習型の自然観察	371	21.4%
その他()※100字以内	13	0.7%
利用したいものはない	370	21.3%

Q26:

Q22の選択肢「イベントやサークル活動ができるスペース」について、どのようなものがあれば利用したいと思いますか。

【選択肢補足】

※11 市、事業者、生産者、市民が一体となり持続可能性を追求しながら千年後の豊かな千葉市を目指す食のブランドのこと

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,737]

市内のおいしい食を味わうことができる場(千葉市食のブランド「千」※11等)	994	57.2%
調理室、加工場(料理教室、みそ作り等)	588	33.9%
イベントを開催するための施設	544	31.3%
運動ができる施設(体育館、グラウンド)	443	25.5%
その他()※100字以内	12	0.7%
利用したいものはない	269	15.5%

Q27: 最後に、「鉄道の利用」についてお聞きします。
 普段、鉄道等を利用する際の主な目的・用途は何ですか。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,737]

レジャー・遊び →Q29へ	973	56.0%
通勤	645	37.1%
買い物 →Q29へ	591	34.0%
観光 →Q29へ	452	26.0%
通院 →Q29へ	243	14.0%
帰省 →Q29へ	222	12.8%
出張・ビジネス(通勤を除く) →Q29へ	148	8.5%
通学	51	2.9%
その他()※30字以内 →Q29へ	21	1.2%
普段、鉄道等は利用しない →Q33へ	208	12.0%

Q28: (Q27で「通勤」「通学」と回答した方)
 通勤・通学を選択した方だけに伺います。普段の通勤・通学时乗り換えを何回行いますか
 (直通運転による他路線への乗り入れは乗換に含みません)。

(1つだけ)(入力必須) [n=619]

0回(乗り換えなし)	222	35.9%
1回	261	42.2%
2回	102	16.5%
3回	22	3.6%
4回以上	12	1.9%

Q29: (Q27で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)
 鉄道等を利用する際の主な行き先を1つ選択してください。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,529]

東京都	726	47.5%
千葉市内	419	27.4%
千葉県内	301	19.7%
神奈川県	23	1.5%
埼玉県	6	0.4%
茨城県	3	0.2%
その他	51	3.3%

Q30: (Q27で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)
 普段の外出時に日常的に利用する鉄道路線は何ですか。上位3つまで選択してください。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,529]

JR総武線(快速)	802	52.5%
JR総武線(各駅停車)	776	50.8%
JR京葉線	726	47.5%
JR外房線	249	16.3%
京成千葉線	213	13.9%
千葉都市モノレール	202	13.2%
JR総武本線	112	7.3%
JR内房線	108	7.1%
京成千原線	83	5.4%
JR武蔵野線	76	5.0%
その他()※30字以内 ※路線名を1つご記入ください	55	3.6%

Q31: (Q27で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)
 鉄道等を主に利用する時間帯はいつですか。

(最大2つまで)(入力必須) [n=1,529]

朝(7～9時台)	774	50.6%
昼(10～12時台)	606	39.6%
夜(16～18時台)	512	33.5%
夜(19～21時台)	352	23.0%
昼(13～15時台)	305	19.9%
朝(4～6時台)	135	8.8%
夜(22～24時台)	59	3.9%
上記以外の時間帯	5	0.3%

Q32: (Q27で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)
 鉄道等を利用する際の乗車時間について伺います。普段鉄道を利用する際の乗車時間(乗り換え時間を含む)はどのくらいですか。片道分の乗車時間でお考えください(最も頻度の高い行先を想定してお答えください)。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,529]

30分以上1時間未満	543	35.5%
1時間以上1時間半未満	425	27.8%
30分未満	415	27.1%
1時間半以上2時間未満	102	6.7%
2時間以上	44	2.9%

Q33: 鉄道等を利用する中で改善を望むことはありますか。下記一覧の中から当てはまるものを選択して下さい。

【選択肢補足】

※12 非接触型決済のこと。タッチ決済とも呼ばれる。交通系ICカード、クレジットカード、スマートフォンをタッチして行う決済方法。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,737]

便数の充実(本数などの増加)	720	41.5%
利用料金の値下げ	516	29.7%
乗り継ぎ環境の改善(乗り換えを考慮したダイヤ設定等)	500	28.8%
車内の混雑緩和	465	26.8%
快速列車等の設定による輸送の効率化、速達化	260	15.0%
乗り継ぎ場所や乗り場での分かりやすい案内	238	13.7%
バリアフリー設備の充実(ホームドア設置、段差の解消等)	226	13.0%
相互直通運転による利便性の向上(乗り換え不要、行き先の選択肢増加など)	190	10.9%
運行時間の拡大(始発便を早く、最終便が遅く等)	175	10.1%
定刻どおりに列車が発着する(遅延等の防止)	149	8.6%
乗車券の購入や払い戻しができる有人窓口の増加	124	7.1%
改札機における、交通系IC以外のコンタクトレス決済※12の拡充など、乗車手段の充実	70	4.0%
特にない	183	10.5%

その他

Q7: 食品ロス削減につながる事業として市に実施して欲しいものは何ですか。

【その他 主な意見】

・ 飲食店にて食べ切れなかった分の持ち帰りを推奨してほしい。(9件)
・ フードドライブ。(2件)
・ 恵方巻きなどフードロスが多いイベントに対し注意喚起する。(2件)
・ 食品企業が、例えばパンの耳など、商品上の見栄えで捨てている物を専門に売る店舗をつくることを義務づける。
・ 「御隠居さん、どうして餅はカビるんですかねえ？ばかやろう、早く食わねえからだ」みたいな分かり易い標語。
・ 幼稚園などに出向くなど、幼児期にも紙芝居やパネルなどで保育士負担にならないよう出張して伝えてほしい。
・ 自分の容器を持参して購入する「量り売り体制」の樹立。計量販売によるメリットは3Rにつながると思う。
・ 飲食店を何店舗かまわって完食すると、景品がもらえたり、キャンペーンに応募できるようなスタンプラリー。
・ カット済み冷凍野菜や冷凍魚肉の使用でロスがほぼ0、ごみ袋も特小に。SNSで早く知れたかった。
・ 手前取りは消費者に一方的に負担を押し付けるので長続きしない。販売側にも痛みを伴うよう指導するべき。
・ 売れ残り商品を安価で販売する様、商店に指導する。作り過ぎまたは廃棄商品への販売助成金や減税など。
・ 事前に商品をパック入りにして販売しているが、購入者が必要な分量だけ買えるように工夫して欲しい。
・ 飲食店勤務。廃棄食品(食べ残し)が多すぎです。最初からご飯の量など選べる工夫を企業に課すべき。
・ ロスをなくす工夫は言われて取り組んでも継続しないので、自発的にそれぞれに合った方法を実施する。
・ 食べきればokではなく根本的に作りすぎないような生産から販売までの流通量制限、仕組みづくり。
・ 傷んだ品が正規の値段の為売り残っているスーパーがあるので割引するようもっとお店に願います。
・ 飲食店が食品ロス対策のアプリの活用、認知してほしい。東京に比べ千葉県に参加飲食店が少ない。
・ 飲食店の商品になる前のロスを減らす取組み。期限切れで廃棄になる食材を活用できないか。
・ 行楽シーズンに伴って、キャンペーン or イベントを企画実践し、啓蒙活動も展開する。
・ プラスチックゴミの回収もあるといいです(食品ロスと直接関係ないかもしれませんが)。
・ 食パン、ロールパン等が消費期限で適切か見直し(賞味期限ならカビてなければ平気)。
・ フードドライブに参加できる場所を身近に作ってほしい。近くにないから参加できない。
・ ご自由にお取りくださいというコーナーを地域(スーパー内や区役所内など)に設ける。

・ 飲食業界で発生する食品ロスの削減への協力(飼料化や堆肥化などへの助成など)。
・ リサイクルも大事だけどそもそも使わない事が大事ということを伝えてほしい。
・ 土日でも行けるフードドライブの場所の提供(ショッピングモールなど)。
・ 店側が恵方巻など大量に廃棄しなくて済むように節度ある仕入れを徹底する。
・ 捨ててしまうような食材で作った料理を提供するレストランへの支援。
・ 事業者の食品廃棄に関する制度の改正、賞味期限・消費期限の見直し。
・ 賞味期限の切れた食品を小売店から買い上げて、調理して安く販売。
・ 市が民間店舗におつとめ品に半額シールを貼ろうキャンペーン。
・ 企業に小分けやバラ売りを増やすようにはたらきかけてほしい。
・ 食品ロスを減らすメニューの販売。スイカの皮のカレーとか。
・ スーパーなど食料品を扱う店舗での啓発、ポスター展示など。
・ 余った食品を他の場所に回す仕組みを作り、運用する。
・ フードドライブを行っている場所や店舗の一覧を表示。
・ フードドライブの窓口拡大(通年で設置して欲しい)。
・ スーパー、コンビニ、ドラッグストア等での啓蒙活動。
・ 町内会など身近な組織を通して削減の推進を図る。
・ 賞味期限ギリギリのものを安く売るところを作る。
・ 個装されたパンなど給食の残りをフードドライブ。
・ 受講型の啓発事業をネット配信する。Zoom。
・ もっと直接的に効果のある施策(罰則含む)。
・ プラスチックごみの削減に取り組んでほしい。
・ 店側がお弁当を作り過ぎない取り組みをする。
・ ディスポーザーの購入補助金の比率アップ。
・ ロスになりそうな商品の大幅値引き販売。
・ 費用をかけずできることをやるべき。
・ 賞味期限が近いものを調理して販売。
・ 店から出る廃棄食品を減らす施策。
・ 食品を必要とする人への支援窓口。
・ 賞味期限に近いものは安く売る。
・ 給食の残食ゼロの取り組み。
・ フードシェアの紹介。
・ コンポストがほしい。
・ 完食キャンペーン。
・ 廃棄食品の配布。
・ 企業への指導。
・ バザーの開催。

Q14: LGBTの方々が生活しやすい社会になるために、今後、千葉市ではどのような取組みが必要だと思いますか。

【その他 主な意見】

<p>「LGBTの方々のために」と言って、特筆して取り上げ、表面上はフェミニズムを増進したかのように、「してやった感」を振りかざして自己満足することが、本当に悩んでいる人にとって嬉しいことなのだろうか。望んでいることなのだろうか。自分がその立場であると想像したならば、そっとしておいて欲しいと感じることだろう。</p>
<p>LGBTに対して必要以上に騒ぎ過ぎる社会に疑問があります。当事者の方の中には騒がないでほしいとか、そっとしておいてほしいと思っている方も大勢いるとも聞いています。また、今は小学校でLGBT教育をするそうですが、これがイジメの対象となる事もあるそうです。だから従来通りの社会に戻すべきです。</p>
<p>LGBTへの支援は大事だが、それによって女性の権利が侵害されることがあってはならないと思うし皆が理解し認め合うためには特にトランスジェンダーの人が女性の気持ちを理解出来るような講義をトランスジェンダー向けに開催してほしい。</p>
<p>多様性を重視するというなら人間の性愛を人間だけに限るといのはおかしい、例えば動物などの性愛も認めるべきではないでしょうか。自分たちが理解できるだけの多様性だけ認めるというのは正しくない。</p>
<p>目立ったLGBT政策が逆に差別意識を生んでいます。生まれ持った身体に感謝して、心の性別が違う方には真摯に寄り添える人間になれるような教育・支援が出来る千葉市になることを望みます。</p>
<p>国政による教育方針により小中学校における人権教育の徹底することが将来国民の偏見をなくす根源であり、また平等について再度の方策が必要である。</p>
<p>常設の、専門知識のあるスタッフがあり、本などが充実しており、当事者にとって安心出来る、イベントなどが開かれるスペースが作られてほしい。</p>
<p>彼ら彼女らは今のような過剰な世の中を求めてないと思う。アメリカの政策を日本も勉強し元の世に戻し、その中で共存する方法を模索すべき。</p>
<p>友人にLGBTがいますその方々は静かに見守ってほしいとねがっているので自治体が公に行うのは迷惑だといっていましたので私もそう思う。</p>
<p>差別は良くないが、一方で特別扱いする必要もない。当事者の方々も、放っておいてほしい(差別がなければよいだけではないか)。</p>
<p>LGBTに配慮したトイレ・更衣室等というのが逆に皆にとって使い辛くなると困る。「配慮」の内容によっては容認したくない。</p>
<p>付け焼き刃の制度で解決される問題ではなく思想の土壌を変革しないと少しも解決の糸口にはならないと考えます。</p>
<p>ALLY(アライ。LGBTのことを理解し、応援する人のこと。)の認定制度を作りカミングアウトしやすい環境を作ると同時にアウティングを監視できる仕組みづくり。</p>
<p>LGBTに配慮するあまりそうでない人々の権利を侵害しないよう配慮(LGBTにヘイトが向かうため)。</p>
<p>相談窓口など配慮は必要だが、当人の希望なしに市が先回りして活動・建設をすることには賛成しない。</p>
<p>行き過ぎた配慮、優遇の禁止とトラブル予防を優先し、社会に受け入れられる地盤を作る必要がある。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例・制度上の規制の緩和・解消を行った後、一般的に「LGBT」という用語を使わなくすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同性と結婚が認められ、収入など同等の扱いを得られることが一番です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者を受け入れ、他者に受け入れてもらう為のヒントをもっと広める。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女のトイレとは別にLGBTの人だけが入れるトイレを作る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年配者に偏見を持つ人が多いため年配者向けの講座開催。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法改正をして同性同士での婚姻を認めるしかない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ LGBT以外の性的思考への配慮と差別の禁止。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別扱いすることを廃止、通常(普通)を推進。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同性婚を認める法律の改正、相続の権利の整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・ LGBTの方が自己表現できる仕事の創設。
<ul style="list-style-type: none"> ・ そうなった経緯までちゃんと聞いてあげる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ LGBTQを過度に意識させすぎない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別(過剰)な対応は必要ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳などの学校教育に導入する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別も特別扱いもやめること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 過剰な反応をしないこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役所手続きのスムーズさ。

Q17: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

【その他 主な意見】

・ 時間が解決。(3件)
・ 転職した。(2件)
・ 急死に一生のような危険な経験をし死んでもおかしくない所、生きなさい！と神様に言われたような体験をした。
・ 心療内科の受診で現状(うつ)を診断されたが、軽度だったので意識的にうつ状態に良いとされる行動を取った。
・ 自分の中で気持ちの整理が出来た。例えば、相手と同じ土俵(位置に立たないとかなど)。
・ 当時寝たきりで介護が必要であったので、手段が思い浮かんでも実行できなかった。
・ ベストな選択ではないことがわかっていた、家族に迷惑がかかるとわかっていた。
・ 仕事は、やるだけ評価をされるため、そこに自分の価値を見出すようにした。
・ 映画を観て「死ぬもんか」「明日がある」と思いなおした。
・ 自殺したときの周囲の迷惑を考えて、自殺を考えることを止めた。
・ 同じ当事者たちに会いに行き相談をしたことで気持ちが晴れた。
・ このまま死んだら周囲の思う壺で悔しいと思い踏みとどまった。
・ 自分に合わない環境を変えた(自分の合う環境に変えた)。
・ 忍耐力を鍛えて、死にたいと思う気持ちを抑えて消した。
・ 死んだほうが死ぬ原因を作ったほうの利益になるから。
・ ストレスの原因となる人のいる職場から離れた。
・ 自分の好きなことをやって忘れようとした。
・ 家族にも他人にも迷惑になると考えたので。
・ 自殺は絶対にしないと心に決めているので。
・ ただ、ただ、何もかも投げ出してねむる。
・ 迷惑の掛けない方法が見つからなかった。
・ 死んだら全部無駄になると思った。
・ ぼんやりとしか思っていないから。
・ 自分の考え方を変えるようにした。
・ 良いカウンセラーさんに出会った。
・ なるようになれ！との開き直り。
・ 歌詞により気持ちが変わった。
・ ストレスの原因を取り除いた。
・ 死んだら負けだと思っから。
・ 自力で我慢しのりこえた。

・ 自殺するのが大変だから。
・ 環境が変わったため。
・ 女性保健薬を飲んだ。
・ 本気じゃなかった。
・ AIに相談した。
・ 勇気がなかった。
・ 仕事を辞めた。
・ 自分で戦った。
・ 休養。

Q21: これまでに千葉市農政センターを利用したことはありますか。

【その他 主な意見】

- | |
|---------------|
| ・ 園芸協会との関わりで。 |
|---------------|

Q22: 千葉市農政センターでは、現在、農家だけでなく農家以外の市民の皆様も気軽に立ち寄ることができるエリア※8の拡大を検討しています。どのようなものに関心がありますか。
※8 現在は、千葉地域農林業センター、健康増進施設、直売施設を本エリアに含んでいる。農林業に対する理解醸成を深める取組みを行い、農政センターの魅力向上を図りたいと考えている。

【その他 主な意見】

- | |
|--|
| ・ 農政センターの職員の人から、公民館でシイタケ栽培の実践講習を受けたことがあり、またやってほしい。 |
| ・ 大学時代に落花生のデータがほしかったのですが手に入らなかったもので、そういう資料を見せてほしい。 |
| ・ 興味を持つ一般市民に対して、水田耕作のノウハウを講習指導してほしい。 |
| ・ 家庭での緑化に関する相談窓口の設置と、SNSなどでの情報提供。 |
| ・ 子どもが将来の選択に繋がる何らかの機会。 |
| ・ 自分の家で野菜を育てる機会が欲しい。 |
| ・ 農業が抱える野生動物の影響と対策。 |
| ・ 有機農家からの話。 |
| ・ 災害時の有効利用。 |
| ・ 子ども向けのもの。 |
| ・ 散歩、休憩。 |
| ・ 間伐体験。 |

Q23-1: Q22の選択肢「緑・自然とふれあう体験」について、どのようなものがあれば利用したいと思いますか。

【その他 主な意見】

・ サイクリングロード。(2件)
・ ドッグラン。(2件)
・ 野菜や果物の収穫期に収穫体験ができると同時に収穫できた物を安い価格で買い取り持ち帰ることができるイベントの開催。実際に収穫できるようになる前に予定を掲示してお知らせ＆募集要領を告知しておく。
・ 農政センターの職員の人から、公民館でシイタケ栽培の実践講習を受けたことがあり、またやってほしい。
・ 公共機関が所有する活用されていない土地の有効活用、自然と親しめる場所への改装。
・ 親子向けだけでなく、高齢者も参加できるイベントがあればいいと思います。
・ 季節ごとに収穫された物産の特売などの イベント 企画の計画と実施。
・ 歩数計を使ったウォーキングと終了後のBBQや豚汁などの意見交換会。
・ 里山を生かした生活体験(火おこし、焚火での調理、保存食作りとか)。
・ 森の保全の仕方を実践、竹、木、雑草の伐採、小道、柵の作り方。
・ 入場無料で家畜の小さな動物園を作って触れる機会を提供する。
・ 自然の中で自然の廃材などを利用した調理体験など。
・ 実際に農作物の作付けから収穫までを体験する。
・ デジタルメディアを利用した環境学習の充実。
・ 予約なしで利用できるデイキャンプ場。
・ 大人限定だと参加しやすい人もいる。
・ 家庭菜園用の野菜や花の苗の頒布。
・ ペットと一緒に参加できるもの。
・ 水田耕作体験と実践耕作の実施。
・ バードウォッチングの体験会。
・ 身近な野鳥や動物の写真展。
・ ペットと遊べる施設。
・ アスレチック施設。
・ バーベキュー。
・ キャンプ等。
・ 野菜の直売。
・ 作業体験。
・ 薪づくり。

Q24: Q22の選択肢「農業・林業の体験」について、どのような体験があれば利用したいと思いますか。

【その他 主な意見】

・ 農政センターの職員の人から、公民館でシイタケ栽培の実践講習を受けたことがあり、またやってほしい。
・ あまり用意するものが無くて素人でも簡単に参加出来る体験。安全靴等普通は持っていないので。
・ 落花生の成長過程を定期的に見学して、収穫、天日干し、焙煎して、食べたいです。
・ 木の廃材や木クズを固めるなど再利用した工作体験など。
・ 土気からしなのような千葉市の伝統野菜の栽培収穫体験。
・ ベランダなど狭い空間でできる作物の育て方講座。
・ 野鳥の餌作りや、庭の樹木の剪定方法講座。
・ 木材の廃材を利用した雑貨、箸作りなど。
・ 簡単に自給自足になる野菜や果物の栽培。
・ せまいベランダでもできるものがあれば。
・ 団地のベランダでも作れる野菜。
・ 箒作り・わらじ作り。
・ 作物のオーナー制度。
・ 家庭菜園の推進。
・ 木こり体験。
・ 植林。
・ 米作。

Q25: Q22の選択肢「千葉市農政センターを活用した環境学習(展示スペースを含む)」について、どのようなものがあれば利用したいと思いますか。

【その他 主な意見】

・ 子ども向けのもの。(3件)
・ 一人でも参加しやすいよう、お一人様限定の参加イベントがあるといいなと思う。
・ 近隣で見られる野鳥や動物の展示と自然保護の講習。
・ 千葉市で盛んな各農作物のデータの閲覧。
・ 大規模な土地開発の農業環境への影響。
・ チェーンソーを使った伐採体験。
・ 家庭での緑化に関する講演。
・ 焚き火を含むキャンプ等。
・ 家庭菜園の推進。
・ ものづくり体験。
・ セミナー。

Q26: Q22の選択肢「イベントやサークル活動ができるスペース」について、どのようなものがあれば利用したいと思いますか。

【その他 主な意見】

・ ステージを作り、無料で市内バンドに貸し出し、演奏会も無料で聞けるようにする。
・ 老親への作り置き、家族への作り置き、離乳食の作り置き料理初心者男向け。
・ 地元の方のイベント的直販スペース。キッチンカーの出店できるイベント。
・ 市内の農家や菓子、パンなどの作り手のマルシェイベント。
・ 農業や林業に携わっている方々との意見交換の場。
・ 小規模なサークル活動や談話の出来るスペース。
・ 干し柿、ゆで落花生、ピーナツ味噌作りなど。
・ 移動バス内(移動図書館のようなスタイル)。
・ サバイバルゲームが出来る施設とスペース。
・ 温水プール(小中学校との共同でも可)。
・ サークル活動に利用できる会議室。
・ キャンプ場。

Q27: 普段、鉄道等を利用する際の主な目的・用途は何ですか。

【その他 主な意見】

・ ボランティア。(4件)
・ 親の介護。(3件)
・ 習い事。(2件)
・ ボランティアに行く時や子どもの家に行く時。
・ 知人宅訪問、スポーツ観戦。
・ 子どもの通塾の付き添い。
・ 職業が乗務員のため。
・ 子どもの高校見学。
・ 同好会活動。
・ クラブ活動。
・ 友人と会う。
・ 親族訪問。
・ 冠婚葬祭。
・ 所用。

Q30: 普段の外出時に日常的に利用する鉄道路線は何ですか。

【その他 主な意見】

・ 東京メトロ東西線。(9件)
・ 東葉高速鉄道。(4件)
・ 京成本線。(3件)
・ 東京メトロ。(2件)
・ JR山手線。(2件)
・ JR成田線。(2件)
・ 東京メトロ、りんかい線。
・ 有楽町線。
・ 中央線。
・ 京浜東北線。
・ 横須賀線。
・ JR常磐線。
・ JR総武線(特急)。
・ 東北新幹線。
・ 新京成線。
・ 東武。